

社会福祉法人 慈青会
平成 31 年度（令和 1 年度）事業報告書

はじめに（総括）

法人設立から 3 期目を迎え、当施設基本理念や事業計画に基づき、堅実な運営を進めてまいりました。

昨年発生したインフルエンザ感染症に関しましては、流行時期前の職員への注意喚起の他感染管理の確認や研修会を開催し、高齢者施設における具体的な対応策を学び実践したことにより、感染症罹患者はいませんでした。一方、新型コロナウイルスの感染症が日本や世界各国に流行したことにともない、私たちが住む社会や経済に大きな影響がありました。

今後、この感染が収束に向かうような流れがありましても、最後の最後まで気が抜けない環境であることに変わりはなく、入居者の健康と安全を第一に考え守っていく所存です。

また、当施設におきましては効率的な人事配置とランニングコストの削減に努めてきましたが、経営環境が年々厳しさを増しており、収益と職員の確保の両立に毎年苦慮しています。今年度におきましても、入居者へのサービスがより一層向上すよう事業に取り組んでまいりましたので、その概要を次のとおり報告いたします。

1. 職員体制について

令和 2 年 3 月末時点の職員配置は次表の通りです。

	施設長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	介護支援専門員	栄養士	調理員	医師（嘱託）	その他	実人数 合計
職員数	1	1 兼務 有	16 (1) 兼務 有	4 兼務 有	1 兼務 有	1 兼務 有	1	4 (1)	1	5 (5)	35

※上段は実職員数、中段は（内パート職員数）、下段は他職との兼務の有無 有の場合「兼務有」と表記

2. 職員研修について

内部研修、外部修研は研修計画に沿って行いました。認知症介護や感染症等を再確認できたことで職員の意識の向上が見られ、ユニット会議を活用し職員全体で入居者様に楽しんで頂ける企画の提案と実施に取り組むように努め、毎月の飾りつけの更新、一人一人の希望に添った誕生日行事の提供、季節感のある取り組みなどの実施をしました。

また、各会議や各委員会等の職員が顔を合わす機会を定期的に確実に持って声を掛け合うことにより、ともに自己研鑽していく意識を育むことが出来ました。これを基に引き続き研修を充実させ専門性の習得を行い、職員教育と入居者に対して質の高いサービス提供ができるように努めたいと思います。

3. 総務・会議について

年間計画に従い理事会（内部監事監査）、評議員会、人事考課、避難訓練、運営推進会議、各種会議、委員会を開催しました。主な内容は以下のとおりです。

(1) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会開催日及び審議内容、審議結果事項

① 理事会

開催日	審議内容	審議結果
令和1年6月13日	第1号議案 平成30年度事業報告及び付属明細書の承認について 第2号議案 平成30年度計算書類及び付属明細書並びに財産目録承認について 第3号議案 理事長の業務報告について 第4号議案 特養ささえ非常用発電設備整備工事計画の承認について 第5号議案 平成31年度補正予算承認について 第6号議案 次期役員（理事・監事）の候補者について 第7号議案 定款の変更について 第8号議案 就業規則第14条3項の60歳到達慈最低保証額の事後承認について 第9号議案 定時評議員会の招集について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和1年6月28日	第1号議案 理事長の選任について	可決
令和1年12月25日	第1号議案 ささえ運営規程変更について 第2号議案 就業規則変更について 第3号議案 評議員選任解任委員会規則の変更について 第4号議案 役員（理事、監事）の候補者について 第5号議案 臨時評議員会の招集について	可決 可決 可決 可決 可決
令和2年3月23日	第1号議案 平成31年度（令和1年度）補正資金収支予算について 第2号議案 令和2年度事業計画及び資金収支予算書について 第3号議案 評議員候補者選任について 第4号議案 評議員選任解任委員選任について 第5号議案 評議員選任解任委員会開催について 第6号議案 就業規則変更について 第7号議案 定款細則変更について 第8号議案 経理規程変更について 第9号議案 経理規程細則変更について 第10号議案 業務管理体制整備規程について 第11号議案 利益相反取引について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

② 評議員会

開催日	審議内容	審議結果
令和1年6月28日	第1号議案 平成30年度計算書類及び付属明細書並びに財産目録の承認について 第2号議案 理事及び監事の選任について 第3号議案 定款の変更について 報告事項 平成30年度事業報告	可決 可決 可決
令和2年1月15日	第1号議案 理事及び監事の退任に伴い、補充する理事及び監事の選任について	可決

③ 評議員選任解任委員会

開催日	審議内容	審議結果
令和2年3月31日	議案 評議員の選任について	可決

(2) 運営推進会議

平成31年度（令和1年度）5月、7月、9月、11月、1月、3月と2ヶ月に1回、計5回開催する予定となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止対策のため、3月の会議は中止としました。

入居者の日常の様子や行事、事故報告やヒヤリハット、職員の動向や入居者の待機状況等を報告しました。また、参加者より様々な意見を頂き入居者の生活に活かすことができました。

(3) 給食会議

毎月1回、会議を開催し、検食結果の振り返り、食中毒予防等について検討を重ねました。また行事食の検討や提供方法、食に関する嗜好調査結果の報告などを行いました。

(4) 各委員会

当法人には、施設内のサービスの質の向上、施設内のマニュアルの作成および研修の計画等のために各種委員会活動を行いました。各委員会とは以下のとおりです。

① 身体拘束廃止委員会

身体拘束に対する理解の徹底を図る事によって、日常的に行われている行為の中で入居者さんに精神的及び身体的ストレスを掛けていないかの検証を行うことにより、身体拘束に対する意識を図り実践してきました。基本的には、自分が受けたい介護を入居者さんに出来るようにしていくことを心掛けました。

② 事故発生防止委員会

日々の介護の中から、「ヒヤリハット報告書」や「入居者・ご家族の声」などできる限りの情報を集め、しかるべき対策を練りそれが実行されているかを確認していき、入居者の安全性を確保できるよう努めました。

③ 褥瘡対策委員会

褥瘡防止の為、圧迫床ずれ、皮膚に加わる無理な力が血行障害を起こし、組織が壊死して褥瘡となる事を考え、入居者の身体の状態や栄養、皮膚の状態を観察し褥瘡のリスクの検討を行い、個々の状況に応じた対策を行い褥瘡の予防に努めてきました。褥瘡のある方に対しても医師の診察や対応等を検証してモニタリングを実施しております。

④ 感染対策委員会

感染症を予防するためには、種々の感染症の理解と予防する知識、ケア技術が必要なため、全職員向けに勉強会などの取り組みを行っています。また、今期はコロナウィルス感染症に対する予防や感染拡大に努め、面会を制限する等の取り組みに力を入れて参りました。

4. 行事（ささえ）について

港町地区ねぶた祭り、納涼会、敬老会、誕生会、お便りの送付など年間計画に従い行いました。今後ボランティアの受け入れ等にも取り組んでいきたいと思っております。

5. 健康管理について

健診等規程に則り、職員の定期健康診断、夜勤者の特殊業務従事者の健康診断、雇入時健康診断、給食職員の検便検査等、インフルエンザ予防接種を行いました。

6. 安全管理について

消防設備点検（榊青森ドラッグ）、電気設備点検（東北電気保安協会）、受水槽の清掃及び点検、井戸水水質検査、レジオネラ菌検査、施設内大掃除、各種機器自主点検を年間計画に沿って行いました。

井戸水活用による融雪及び空調設備の使用によるランニングコスト（電気料）などの工夫を、今後行っていきたいと考えております。

7. 借入金の償還について

当期における福祉医療機構および青森銀行への返済に関しまして、福祉医療機構は返済期間が3年据え置かれているので、その間は利息を支払い（令和3年2月より返済開始）、青森銀行は令和1年4月より元金および利息を予定通り支払いました。

8. その他

非常時の電源確保のため、青森市の補助金を活用（設置工事は、青森市浪岡の天内電気さん）し、非常用発電設備を設置しましたので、今後訓練を重ねて非常時に対応したいと考えております。

（収支報告、写真、仕様は次ページ）

(法人名 社会福祉法人 慈寿会)

平成30年度

収支決算(見込)書

収入の部

(単位:円)

科目		当初予算	補正額	決算額	摘要
施設設備等補助金収入	施設整備補助金	8,003,000	△ 532,000	7,471,000	青森市高齢者福祉施設におけるスプリンクラー設備整備費補助金
借入金収入					
自己資金	保有現金	880	△ 680	200	
合 計		8,003,880	△ 532,680	7,471,200	

支出の部

(単位:円)

科目		当初予算	補正額	決算額	摘要
非常用自家発電設備設置工事費		8,003,880	△ 532,680	7,471,200	
合 計		8,003,880	△ 532,680	7,471,200	

令和1年12月25日

上記のとおり相違ありません。

(法人名) (法人名) 社会福祉法人 慈寿会
 代表者 代表者 理事長 石木 基夫





SDG25LA-581



三相
単相



SDG45LA-582



三相
単相



SDG60LA-581



三相
単相



SDG100LA-581



三相
単相



項目	モデル		SDG25LA-581		SDG45LA-582		SDG60LA-581		SDG100LA-581		
	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	
性能	周波数	Hz	50	60	50	60	50	60	50	60	
	電源切替	200V/400V	標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		
	三相4線式 200V級	出力	kVA	20	25	37	45	50	60	80	100
		電圧	V	200	220	200	220	200	220	200	220
		電流	A	57.7	65.6	107	118	144	157	231	262
	三相4線式 400V級	出力	kVA	20	25	37	45	50	60	50	60
		電圧	V	400	440	400	440	400	440	400	440
		電流	A	28.9	32.8	53.4	59.0	72.2	78.7	115	131
	単相3線式 100/200V級	出力 ^{*)1}	kVA	12(6)	15(7.5)	22(11)	27(13.5)	30(15)	36(18)	47(23.5)	58(29)
		電圧	V	100/200	110/220	100/200	110/220	100/200	110/220	100/200	110/220
電流 ^{*)1}		A	60×2/60 (30×2/30)	88.2×2/88.2 (34.1×2/34.1)	110×2/110 (55×2/55)	123×2/123 (61.4×2/61.4)	150×2/150 (75×2/75)	184×2/184 (81.8×2/81.8)	235×2/235 (117.5×2/117.5)	254×2/254 (127×2/127)	
コンセント 出力	電圧	V	100	110	100	110	100	110	100	110	
	コンセント	kVA	1.5×6口	1.65×6口	1.5×6口	1.65×6口	1.5×6口	1.65×6口	1.5×6口	1.65×6口	
励磁方式		ブラシレス									
極数	P	4									
効率		三相0.8(遅れ) 単相1.0									
名称		クボタ V2403-K3A		クボタ V3600-T-K3A		いすゞ BJ-4J1X		いすゞ BJ-4HK1X			
形式		4気筒渦流式		4気筒渦流式過給機付		4気筒直列式過給機付冷却器付		4気筒直列式過給機付冷却器付			
総排気量	L	2,434		3,62		2,999		5,193			
定格出力	kW	19.1	23.7	35.0	42.5	51.6	61.0	96.3	113.6		
定格回転速度	min ⁻¹	1,500	1,800	1,500	1,800	1,500	1,800	1,500	1,800		
使用燃料		軽油									
	燃料タンク容量	L	70		110		140		250		
	燃料消費率	50%負荷	L/hr	3.1	3.9	4.9	6.1	5.7	7.1	9.9	12.3
		75%負荷	L/hr	4.2	5.2	6.9	8.4	6.1	10.2	14.5	18.2
エンジンオイル量	L	9.5		13.2		15		20.5			
冷却水量	L	7.0		11		13.2		22.2			
バルブ×数		80D26R×1		80D26R×1		95D31R×1		170F51×1			
実寸 重量	全長×全幅×全高	mm	1,540×700×1,090		1,850×860×1,350		2,080×1,000×1,390		2,530×1,150×1,580		
	乾燥(運転整備)質量	kg	696(770)		1,040(1,150)		1,250(1,390)		1,890(2,140)		
	騒音(7mレベル) [αA, *]	dB	90[45]		88[45]		90[45]		91[45]		
排煙 ガス	音圧レベル [αA, *]	dB(A)	59	62	57	60	60	63	60	63	
	排ガス対策指定		第3次		第3次		第3次		第3次		

*) 1) 200V/400V級機は200V/400V対応。 2) 音圧(7mレベル)は200Hz。 3) 音圧(7mレベル)は200Hz。 (1) 10m以上と過剰な騒音対策を要する場合があります。



No _____

施工完了

発電機設置



No _____

施工完了

発電機切替盤設置



No _____

施工完了

配管・配線

電気設備竣工検査結果報告書

検査実施日	2019年 12月 25日
天 候	曇り

契約番号	AAH3955	お客さま名	特別養護老人ホームささえ 様				
設備容量	300 kVA	受電電圧	6,600 V	最大電力	195 kW	監視装置	絶縁 Io自動通報
非常用予備発電装置				80 kVA			
発電所				kVA	配電線路	km	
工事会社	天内電気			メーカー			
受電月日				電力立会者	電力センター 様		

電気設備の点検結果は、次のとおりです。
 改修を要する箇所は、速やかに改修下さるようお願いいたします。

項 目	報 告 事 項	技術基準
その他	<p>本日、非常用発電機設置にかかわる竣工管理を実施しました。 検査結果は異常が認められませんでした。</p> <p>発電機電源と商用電源は、双投型スイッチにより電気的、機械的にインターロックされていることを確認しました。</p>	

原本と相違ありません。

青森市港町三丁目10番36号

社会福祉法人 慈青会

理事長 石木基夫



東北電気保安協会

青森事務所

電話番号：017-743-8184

検査実施者
木村 功

様式コード 4702 2012.03

特別養護老人ホームささえ
平成 31 年度（令和 1 年度）事業報告書

1. 運営方針の目標（事業目標）の達成率について

入居稼働率は下記のとおり、目標 95%を達成できたましたが、医療機関への入院者数が多いうえに入院期間が長くなり入居稼働率が不安定でありました。このことから退居後の空床期間を短期間で入居に繋げることが重要と考えました。

(1) 年間の利用状況

利用者の状況（定員 29 名）

	延べ利用者数				平均 介護度	日数	利用率
	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計			
当年度	1,447	3,397	5,293	10,137	4.44	10,137	96%
前年度	1,279	4,727	4,033	10,039	4.26	10,039	95%

(2) 年度末の利用状況

① 入居者の年齢状況

	70 歳 未満	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以上	計	平均 年齢
男 性	1	0	0	1	1	0	1	0	4	81.0
女 性	1	1	3	5	7	5	3	0	25	85.9
総 数	2	1	3	6	8	5	4	0	29	86.0
前年度	4	0	5	3	7	6	4	0	29	84.0

② 介護度状況及び入居前の居所

	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 介護度	入居者の前住所地		
						港町地区	その他	計
男 性	0	1	3	4	4.8	0	4	4
女 性	5	5	15	25	4.4	1	24	25
総 数	5	6	18	29	4.4	1	28	29
前年度	3	13	13	29	4.3	1	28	29

2. 具体的方策の実施について

① ユニットケアの実施

- ・ユニットケア実践のための知識等の習熟度を定期的に確認し、職員一人ひとりのレベルアップとユニットでの実践力の向上に取り組みました。
- ・職員自らが入居者一人ひとりの気持ちに寄り添い、積極的にアセスメントを行いながら支援を進めてきました。
- ・入居者の状態や意向に合わせて臨機応変に対応できるよう、それぞれの職員が自律して支援にあたるように努めましたが、十分とは言えずまだまだ改善するの必要を感じています。
- ・ケアプランに沿った援助に努め、目標の達成に向けモニタリングし援助にあたりました。

② 身体拘束廃止の継続

- ・身体拘束廃止、高齢者虐待防止の研修を全職員に行い周知徹底しました。
- ・身体拘束廃止委員会を定期的に開催し、拘束をしない介護の工夫を検討し実践することができ、その結果身体拘束は0件でした。
- ・事故報告、ヒヤリハットの検討会議により身体拘束をしない介護にも活かすことができました。

平成 31 年度（令和 1 年度）【事故報告 ヒヤリハット】

発生年月	報告形態	件数	事故内容
4 月	事故報告	7 件	(非常口のカギを開けていた、服薬ミス、表皮剥離)
	ヒヤリハット	2 件	(転倒の危険があった、服薬ミスの危険があった)
5 月	事故報告	11 件	(車椅子から転落、ベッドからずり落ち、表皮剥離、炊飯ミス)
	ヒヤリハット	0 件	—
6 月	事故報告	5 件	(表皮剥離、爪から出血、貼付剤が 2 枚貼られていた)
	ヒヤリハット	6 件	(転倒しそうになる、服薬セットミス、食事：破片が混入、提供ミス)
7 月	事故報告	2 件	(ベッドからずり落ち、経管栄養接続部抜去)
	ヒヤリハット	0 件	—
8 月	事故報告	2 件	(転倒、表皮剥離)
	ヒヤリハット	3 件	(車椅子から転落しかかる、服薬ミスの危険、ナースコールのコードが首に巻きつく)
9 月	事故報告	5 件	(転倒、表皮剥離)
	ヒヤリハット	1 件	(服薬ミスの危険があった)
10 月	事故報告	0 件	—
	ヒヤリハット	0 件	—
11 月	事故報告	2 件	(インフルエンザワクチンを 2 回接種)
	ヒヤリハット	1 件	(義歯を前後逆に装着)
12 月	事故報告	1 件	(移乗時に下肢をぶつけた)
	ヒヤリハット	0 件	—

1月	事故報告	2件	(バルーンカテーテル抜去)
	ヒヤリハット	1件	(禁食を提供しかけた)
2月	事故報告	2件	(額に内出血)
	ヒヤリハット	1件	—
3月	事故報告	1件	(厨房職員転倒)
	ヒヤリハット	1件	(転倒の危険)

③ 職員の資質向上

- ・リーダー会議、ユニット会議の実施や外部・内部研修を行うことにより、情報の共有への取り組みを進めてきました。
- ・人事考課制度、キャリアパス制度、職員の能力や成果に応じ評価し、リーダーの育成に努めました。
- ・外部研修への参加や内部勉強会の実施、介護職員の技術、能力、資質の向上を図り、取り組んできましたが、未だ不十分な点も多いので、今後も職員の資質向上のための様々な内部研修、外部研修などに、工夫と努力を惜しまずに取り組んでいかなければならないと感じました。
- ・年間内研修計画を作成し、施設スタッフを講師役にし、また、外部講師との調整をはかり年間施設内研修計画通りに事故防止・虐待・感染症予防等研修を行いました。

3. 援助内容について

① 食事

- ・食事の環境を整え、常に清潔を意識し、食事前後の手洗いや手指消毒を入居者に励行し、食中毒予防に努めました。
- ・咀嚼、嚥下困難等、食事に制約があるようでも出来る限り経口摂取ができるよう支援しました。
- ・行事食や季節感のある食事の提供とするなど、飽きないような献立の工夫を行いました。
- ・正しい姿勢で食事するために、食事の際のテーブルやイスをできるだけ利用者に合わせて使用できるようにしました。

○食事の提供状況（人）

	普通	刻み	ミキサー	流動食他	計
当年度末時点	4	9	7	8	28
前年度末時点	1	11	11	6	29

② 排泄

- ・個々の身体機能に応じて、できるだけトイレの使用を意識したケアを実践しました。
- ・排泄記録をつけ、排便コントロールや排尿状況の把握に努めました。
- ・排泄に関するアセスメントは健康管理上重要であり、変化があった場合は適切に職員間で情報共有するように努めました。

③ 入浴

- ・入居者の尊厳を大切に、入浴前から入浴後まで同じ職員がかかわる形での入浴の実施に努めました。
- ・着替えや脱衣の際は、利用者の尊厳やプライバシーに配慮し、他の利用者に見えないように支援を行いました。
- ・入浴支援中は、声掛けをして利用者の意向等を適宜確認していきました。

4. 医務について

① 健康管理

- ・入居者の健康管理については、配置医、看護職員と介護職員等との間で情報交換、情報共有を図り、疾患の早期発見と早期受診につなげ、口腔内については、訪問歯科の協力を得て、毎週1回受診する機会を提供しました。
- ・各ユニット職員と情報を共有し、急変時には速やかに主治医に報告し指示を仰ぎ、救急搬送や適切な対応を実施してきました。

② 看取りケア

- ・看取りケアを実施しましたが、介護、看護共に戸惑いもありましたが、今年度は4名の方を看取りました。
- ・本人だけではなくご家族の方にも、こまめにコミュニケーションを取ることで現在の体調面・精神面の状態を共有してきました。

③ 感染症対策

- ・感染症を防ぐための衛生管理にも留意しました。職員、利用者に対してのインフルエンザの予防接種を実施し、まん延防止に努めました。
- ・新型コロナ感染症に対しての予防や拡大を防ぐために、職員の体調管理や面会制限等の対策を実施し、入居者や職員の健康管理に努めました。

5. 機能訓練について

① 実施訓練

- ・車いすの方について共同生活室における椅子への移乗等を行いました。
- ・日常生活において個々に合わせた、生活リハビリを実施しました。

② 管理

- ・入居者ひとり一人の状態を把握し、危険のないよう事故防止に努めながら実施しました。

③ 機能訓練計画作成

- ・機能訓練計画書を作成し、個々の機能にあったリハビリを実施しました。

6. 給食について

① 健康維持

- ・配置医師、看護職員、介護職員、栄養士と協同し体重コントロールや経口摂取の維持を図りました。

② 食生活の充実

- ・食事の環境を整え、行事食や季節感のある食事の提供をするなど飽きないような献立の工夫をしました。

③ 衛生管理

- ・常に清潔を意識し、食事前後の手洗いや手指消毒を入居者に励行し、食中毒予防に努めました。
- ・衛生管理にも努めるとともに職員の体調管理も徹底して行いました。

④ 非常食管理

- ・今後災害時、緊急時のマニュアルを作成し、非常時にはスムーズに食事提供できるよう努めていきたいと考えております。

7. 青森市福祉部指導監査課による指導監査の実施

(本年度におきまして新設による3年連続の指導監査終了)

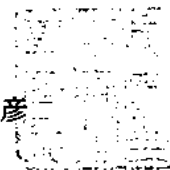
令和2年2月14日に青森市福祉部指導監査課による介護サービス事業者等に対する業務管理体制の一般検査および、社会福祉法人及び市社会福祉施設にかかる指導監査がありました。この監査の指摘事項を踏まえ、更なる法人および施設サービスの運営に取り組んでいく所存です。詳細は次ページのとおりです。

青市指監第189号

令和2年3月31日

社会福祉法人 慈青会
理事長 石木 基夫 様

青森市長 小野寺 晃彦



令和元年度介護サービス事業者等に対する業務管理体制の一般検査の結果について（通知）

貴法人に係る標記検査を実施したところ、文書指摘による是正改善を要する事項はありませんでした。

今後も適正な運営を継続していただきますようお願いいたします。

担当 〒030-0801 青森市新町一丁目3番7号 駅前庁舎
青森市福祉部指導監査課 高齢者施設チーム
TEL 017-734-2413 FAX 017-734-5127
E-Mail shido-kansa@city.aomori.aomori.jp



青市指監第193号

令和2年3月31日

社会福祉法人 慈育会
理事長 石木 基夫 様

青森市長 小野寺 晃彦



令和元年度社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査の実施結果について（通知）

貴法人及び貴法人が設置する「特別養護老人ホームささえ」の指導監査を実施したところ、文書指摘による是正改善を要する事項はありませんでした。

今後も適正な法人運営と施設経営を継続していただきますようお願いいたします。

なお、指導監査の際、口頭指導・助言等があった事項については、適切に措置を講じていただき、より一層の適正運営に努めてください。

担当 〒030-0831 青森市新町一丁目3番7号
青森市福祉部指導監査課
社会福祉法人チーム
TEL 017-734-2354 FAX 017-734-5127
E-mail shido-kansa@city.aomori.aomori.jp

令和元年度 社会福祉法人指導監査指摘事項【口頭指導】

実施年月日	令和2年2月14日
法人の名称	社会福祉法人 慈育会

項 目	現 状 及 び 問 題 点	是 正 改 善・指 摘 事 項	備 考
(運営管理) 1 登記	<p>会計年度終了後3か月以内に、資産総額の変更に係る登記がなされていない。 (登記日) 令和元年7月2日</p>	<p>資産総額の変更に係る登記については、会計年度終了後3か月以内に行うこと。</p>	指導監査が「トラ付Ⅲ-4(4)-3

事業報告の附属明細書

平成31年度（令和1年度）事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 慈青会